えひめ日本語ネットワークNEWS
第19号 2023. 7

それはいけませんね

A：どうしたんですか。

B：夕べお酒を飲み過ぎて頭が痛いんです。

A：それはいけませんね。

初級後半のクラスで上記の会話文を学習していた時、「それはいけませんね」の意味を訊いたところ「行くことが出来ない」という答えが返ってきた。彼の可能形の理解は正しい。慣用句的な意味用法を学習していなかったのだろう。彼は「それはいけませんね」の表現はずっと「行くことが出来ない」と解釈していたと言う。指導者の怠慢を恥じ学習者に詫びねばならないと思った。

会話文の指導で常々心がけていることは「どんな場面で誰が誰に向かって対話しているか」を念頭に置くことだと思っている。

① 相手との距離感。親しい友達、家族、先輩、上司、見知らぬ人・・・など。

② 人間関係を判断する根拠となる言葉は。

③ 終助詞・感嘆詞の意味用法、語調、イントネーション。

これらは自然な会話を習得するためには必要不可欠な要素だと心得ている。

「それはいけませんね」「どうも」「頑張ってください」など日本人が挨拶代わりに使う言葉に対する当該会話の正しい用法の説明も忘れてはならない、

同じように見過ごしがちな表現に「そうですか」がある。会話文の締めくくりによく使われる表現である。「そうですか」の五文字には多くの含意がある。納得、驚き、疑問、残念、諦め、落胆、憎悪…夫々を表現し分けるには語調、イントネーションに委ねるところが大きい。教師は夫々の場面に適合した「そうですか」を選択し得るように導かねばならない。

昨今、「文法より会話」とよく耳にする。ならば場面に相応しい自然な会話を目指すためにどん

な指導法が望ましいのか。言葉は品性を表す。普通形と丁寧形の使い分け、終助詞、感嘆詞、縮約形の扱いも考慮しなければならないだろう。

直接的、刹那的な表現が好まれる風潮には古くから脈々と伝えられてきた日本語のたおやかさは感じられない。待遇表現に見る心理的距離感に人としての節度を知る。

言葉は生き物。時代につれて変化するのはやむを得ない。そしてそれが時代背景を映す文化でもある。が、どんな時代になろうとも日本語の品格は失いたくないと願うのは時代難民の老婆心だろうか。

文頭の「それはいけませんね」の誤認を生まぬよう、学習者には対人関係を意識し、場面に適応した言葉の選択、感情の表現など流暢に発話出来るようその手助けをしたいと切に思う。

宇野美登里

日本語学習者の多い国・地域

出典：国際交流基金「海外の日本語教育の現状　2018年度日本語教育機関調査」

順位	国・地域名	人数
1	中華人民共和国（中国）	1,004,625
2	インドネシア	709,179
3	大韓民国（韓国）	531,511
4	オーストラリア	405,075
5	タイ	184,962
6	ベトナム	174,521
7	台湾	170,159
8	アメリカ合衆国（米国）	166,905
9	フィリピン	51,530
10	マレーシア	39,247

＊上記の人数に現地の日本語学校やインターネットを通して学ぶ人は含まれていません。

日本語支援～高松より～

日本語教育における四技能の大切さについて

私が住んでいる地域の日本語教室では、「コミュニケーション能力」を身に付けることに重きが置かれ、「読む」「書く」より「聞く」「話す」ことが大切だと、口頭でのやり取りを中心に授業が行われてきました。しかし、残念ながら、会話中心の指導で学習者の日本語力がどこまで伸びるかについては、今、少し疑問を感じています。

現在、私が所属している香川県国際交流協会の日本語講座は、「生活者としての外国人」のための日本語教育支援機関で、ここでも会話力を中心に日本語を習得していくことを目指しています。日本の生活にすぐに役立つ場面や話題を想定して、どう話せばいいかと会話で練習していきます。従って、話す練習にたっぷり時間を使い、授業は「話すこと」と「聞くこと」が中心です。その結果、初級後半になっても「読めない」「書けない」という学習者も少なくありません。ある程度、日常会話はできるようになりますが、それ以上の段階になかなか進めません。

また、最近、日本語をもう一度勉強したいという日本に住んで20年の韓国人の学習者がやって来ました。「日本人の話は分かるし、話せるが、読めない、書けない」学習者です。来日直後に、私のクラスで2年間勉強しただけで、それ以降日本語は、全く勉強していません。日本語は耳から聞いて覚えてきたそうで、学習目的は、「Eメールが書けるようになりたい、毎週日曜日の教会の礼拝で配られる週報が読めるようになりたい、そしてきれいな日本語が話せるようになりたい」ということでした。この学習者は、日常のコミュニケーションに不自由はしませんが、「書く」能力が不足し、文法的な知識、漢字力、表記などの能力も高くありません。長音、促音が文字にならなかったり、濁音が全て清音で表されたり、助詞の間違いも多く、ほとんど日本語が書けません。また、語彙力も乏しいため、同じ言い回し、同じ言葉の繰り返しになりがちで、自分の考えや気持ちがうまく表現できなくて、なかなか伝わりません。

会話の中で使われる語彙には限りがあるため、「読む」ことが少ないと新しい言葉に出会う機会が少なくなり、なかなか語彙が増えません。語彙を知り、使いこなす語彙力は学習の基礎で、これは「読む」作業を通して培われるものだと言われています。そして「読む」ことは「書く」

ことに繋がります。「書く」ことは、学習者が学んだ表記、語彙、文型の定着化を図る作業であり、「話す」力、「聞く」力を正しく身に付けていくためにも大切です。そう考えると、長い目で見たとき、日本語を向上させるためには、初級の段階から、ある程度「聞く」「話す」「読む」「書く」の四つのスキルをバランスよく学ぶことが重要ではないかと思います。

今、私は、会話に偏りがちだった授業を見直し、「簡単な読み物を読む」「ディクテーションをする」、「短い日記を書く」といったことを取り入れながら、四技能全体を視野に入れて、授業を進めるようにしています。

そして、今後も学習者が四技能をバランスよく身に付けて、自分の考えを適切な語彙や文型を用いて的確に伝えられるよう、支援を続けていきたいと思っています。

前田恵子

若草日本語教室

新型コロナウイルス感染症の5類移行以来、若草日本語教室の学習者は徐々に増えてきた。企業で働く人や留学生や日本人の配偶者など出身国別に見るとネパールが増えている。若草日本語教室は日本語能力試験を中心に指導しているが、最近は短期滞在者の個人レッスンで、会話のレッスンの要望が多い。

「日本人と話そう」の集まり

オーストラリアで4年間日本語を勉強しているFさんは町に日本人がいないので、日本語を話す機会がないそうだ。日本語はインターネットで勉強しているので、生の日本語に触れることはない。それで、来日した折には、覚えた日本語を使って日本語にチャレンジしている。

どこでも、いつでも学べるインターネット学習だが、受身の学習でチェック機能があまり働かないのは残念に思う。よく理解できていなくても先へ進んでしまい、文法は置き去りになってしまう。Fさんの会話はいくつかの言葉を並べるが、助詞なしで文としては成立しない。理解はできるが、誤解もある。文法なしではきちんとした会話はできない。帰国前のFさんに日本語で二つ文を作ってメールを送ってくれるようにすすめた。どんな文が来るか楽しみにしている。

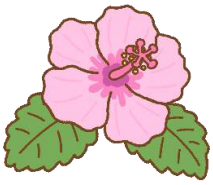
塩入愛子

MIC日本語教室

2023年度前期のMIC 日本語教室の学習者数は中国、イギリス、ウルグアイ、ケニア、スイス、フィリピン、ミャンマー、合わせて12人です。来日の理由は留学、仕事、日本人の配偶者としてなど様々です。簡単な日常会話ができる人たちが大半ですが、この教室で初めて日本語を学び始めた人もいます。

開講当初、日本語がわからず声が小さかった学習者が、飲み物の話題で、笑顔でお酒について応答していたのが印象的です。友人同士で教えあったり、明るいキャラクターで積極的に声を出したり、どの学習者も真面目で意欲的です。

小林圭美



資料作りについて

日本語授業をする際、未習でない語彙や文型を使って授業をどう進めるのか、どう教えるのかを考えて授業計画を立てるのは本当に難しいことです。しかし授業をするのに簡単そうに思えて実は大変なのが絵カードや文字カードの準備です。誰にでも理解できるような絵でなければいけないので、普遍的で誤解を招かないものを選ぶ、極端にタイプが違う絵同士を混ぜないなど、注意することがたくさんあります。もちろん求めている絵自体が見つからない場合もあり、頭を悩ませることも度々です。

次に問題になるのが、絵や字の大きさや線の太さです。教室の広さや学習者の人数も考慮し全員が見やすいようにしなければなりません。作っているときは十分な濃さや大きさだと思っても、模擬授業で実際に使ってみるとまだまだ小さかったりすることも。実際の授業まで試行錯誤を重ね、何度も作り直すのも当たり前。でも本番の授業では全部を使わないなんてことがあるのも当たり前。

それでも授業で学習者が理解を少しでも深めてくれたら、そんな手間も苦労も吹き飛んでしまいます。だからパソコンやコピー機や、のりやハサミ、磁石とも格闘しつつ資料作りに毎回勤しんでいます！

酒井美香

ボランティア日本語教師育成講座

えひめ日本語ネットワーク２年目を迎えて

池田高校の蔦監督を知っていますか。彼の名言である「たかが野球されど野球」という言葉の「野球」を別の文字に置き換えてこれまでの人生を送ってきました。西宇和５町時代に教員生活をスタートし、途中、八幡浜に４年、大洲に５年の勤務はありましたが、教員生活38年のうちの29年間を西宇和の地で勤務できたことは幸せなことだと感じています。教え子は、13歳から52歳になっています。きっといろいろな分野で活躍していることでしょう。もちろん、長年連絡を取り合っている保護者や教え子たちもいます。これからも絆を大切にしていきたいと思います。何とか定年まで勤務できたことは、生徒、保護者、地域の方々、同僚、教育関係者、国内外の仲間のお陰です。これまでの 38年間を振り返ってみると、英語教師として数多くのALTに出会い、同僚として、また、日本人の父親的な存在として接することができて幸せに感じます。

第２の人生はどうなるか分かりませんが、悔いのないように生きていこうと思います。10年前からいろいろな分野で活躍している方々との交流に努めてきたことを生かしていくことができたら幸いです。そして、退職後はこれまでお世話になったALTをはじめとする外国人に少しでも恩返しがしたいという思いから、えひめ日本語ネットワークの門をたたきました。正直、不安はありましたが、宇野先生をはじめ優しいスタッフの皆様やクラスメートにお会いし、特別に身構えず自然体で授業に参加させていただいています。ありがとうございます。あと何年かかるか分かりませんが、将来、県内で外国人に日本語を教えるスタッフの一人になりたいと強く思っています。これからもよろしくお願いいたします。

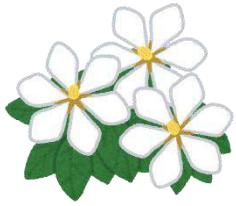
河野晃男

初級II クラス

宇野美登里先生

初級I クラス

学びのコーナー



「意外」と「案外」の使い分け

「意外」と「案外」について「意味用法を例文と共に説明せよ」という問題が「えひめ日本語ネッワーク NEWS　第10号」に掲載されている。いつもあまり気にせず同じように使っている言葉だが、どう違うのか調べてみた。

（1）**意外に**寒いね。

（2）**案外**寒いね。

（1）も（2）も「考えていた状態とは違って、寒い」という意味で、予想と結果が違っている場合に使われるが、明確な違いはない。「意外」が「心の動き」「考え」「気持ち」の「外」であるのに対して、「案外」は「考え」「計画」「下書き」の「外」という意味である。「意外」と「案外」との違いは事態の予想ができたかどうかという点にあると言われている。（1）は「思っていたよりも寒い！」（驚きの気持ちを含む。）で、（2）は「暖かいと思ったのに、寒い！」（これは計算外で計画と違う。もう1枚着る物が要るかも…というようなニュアンスも含まれる。）

「案外」の場合はいつも予想が外れることを意味するが、「意外」は予想と違っていただけでなく、予想もしていない出来事が起こることも意味合いに含み、驚きの気持ちを込めたりする。

（3）きのうのパーティーで**意外な**人に会った。

（4）彼女も同じ高校出身だったとは**意外だった**。

（5）**意外に**君は太ってるんだね。

（6）食べてみると**意外に**おいしかった。

（3）と（4）は予想しない出来事なので、「案外」に置き換えることはできない。（5）と（6）は「案外」に置き換えることができるが、ニュアンスが違ってくる。

「意外」も「案外」も現代は「な形容詞」として使われることが多いが、「案外な」の形は少なく、「案外」の形で副詞的に使うことが多い。また、文末に「意外だ」は使えるが、現代「案外だ」という形は使われていない。

（7）それは彼にとって**意外な**ことだった。（×案外な）

（8）持ち上げてみたら**案外**軽かった。（○意外に）

（9）彼女にそんな特技があるなんて、**意外だ**。（×案外だ）

「意外」は「意外に」または「意外と」の形で副詞として使われる。「意外と」はカジュアルな会話に使われることが多い。

（10）お見舞いに行ったら、**意外に**（**意外と**）元気だった。

（11）**意外に**（**意外と**）時間が早くたってしまった。

「意外」と「案外」はは意味が多少重なる部分があり、言い換え可能な場合が多い。使い分けのポイントは「案外」は「予想と違う」、「意外」は「思っていたこと違って驚く」という点にある。最近は「意外」を使うことが多く、「案外」は副詞的に使うことが多いこと、「意外と」は口語的で、カジュアルな会話に使うということを心に留めておきたい。

影野美鈴

問い合わせ先： えひめ日本語ネットワーク事務局

Email ： ehime-nihongo@nifty.com